

第二市場マスタープランの進ちょく状況について

1 マスタープラン策定後の経過

- 平成22年12月20日 京都市中央卸売市場第二市場「京ミートマーケット」マスタープランを策定。
- 平成24年 3月 6日 マスタープランの進捗状況について、外部の有識者による客観的・専門的な見地から意見を聴くため、「京都市中央卸売市場第二市場「京ミートマーケット」マスタープランの進捗評価に係る第三者委員会」を設置（現在まで計12回開催（現在、名称を第三者評価会に変更））。
- 平成24年 9月 卸売会社等関連事業者の間において、平成26年4月の統合に向け、協議を開始。
- 平成24年12月26日 本市と京都食肉市場株式会社（以下「京食」という。）との間において、段階的实施条件付き基本協定を締結。京食が関連事業者との統合を実現し、平成26年4月から新会社として運営を開始する等、各プロセスを確認しつつ、本市が新施設の整備を進めていくことを取り決めた。
- 平成26年 4月 1日 京食と関連事業者の統合が完了し、新体制で運営を開始。

2 平成26年度の取組

（1）卸売会社の経営改革について

平成26年4月に卸売業者等関連事業者の統合が完了し、「新京食」のもと、市場内における商品の流れ（入荷から出荷まで）が改善され、より健全で効率的に市場が運営されています。

このような中、統合の効果と新施設稼働後を見据え、「新京食」の中長期経営計画の策定等についての支援を行いました。

（2）再整備に向けた取組

平成26年度は、4つの基本コンセプト（①安全で安心な食肉を提供する施設、②京都ブランドを世界に発信する施設、③環境に配慮した施設、④市民などに開かれた施設）のもと、実施設計を行いました。

3 平成27年度の取組

（1）マスタープラン中間総括

平成27年度においては、「京ミートマーケット」マスタープラン（平成22年12月策定：計画期間平成23年度～平成32年度の10年間）を推進して5年度目（中間点）を迎えるため、マスタープランの推進状況について、現時点での成果を明確に位置付けるとともに、取組の途上である事項や積み残されている課題について再確認するため、中間総括を行います。

（2）再整備に向けた取組

平成27年度は、平成30年度の新施設稼働を目指し、建築工事に着工します。

（3）卸売会社の経営改革

新施設稼働後も、安定的な経営が可能となるよう、平成26年度に京食が策定した中長期経営計画を踏まえて、経営改革に向けた支援を引き続き行います。